

利用目的は何ですか？

この施設を活用する目的は何ですか？

具体的な目標（ねらい）は何ですか？

★プログラム立案の参考にしてください。

自然に親しむとともに、豊かな感性を育てたい

自然環境に対する意識を高める

自然の中で思いっきり遊ばせる

自然体験活動を通して、感動する心を育む



困難を乗り越える体験や達成感を味わせたい

野外での活動において、協力し合うことの大切さを学ぶ

忍耐力やチャレンジスピリッツを養う



つくり出したり、工夫したりすることの喜びを体験させたい

身の回りにある自然物を使って、作品を作る

創作活動やニュースポーツ等を通して、工夫することの楽しさを味わう



自主性や協調性、社会性を育みたい

お互いに知り合い、今後の人間関係作りの基礎にする

人との関わりやグループのあり方について学ぶ



心身のリフレッシュと体力の増進を図りたい

自然の中で活動することで、気分転換を図り、今後の活力を得る

様々な自然体験活動を通して、体を鍛え、健康の保持増進を図る



5つの「期待される効果」

国立阿蘇青少年交流の家では、5つの「期待される効果」を活動プログラムに設定しています。
活動プログラムを計画される際の参考にしてください。

「期待される効果」

•自然体験・感性

自然に親しむとともに、豊かな感性を育てます。

阿蘇の大自然の中での野外活動は、人々に感動や驚きを与えてくれるとともに、青少年の感性や好奇心、探求心の育成につながります。また、環境に対する意識を高めることもできます。

•克服・達成

困難を乗り越える体験や達成感が味わえます。

野外での非日常的な体験や目標に近づく努力をすることを通して、困難なことを克服したり、目標達成の成就感を体感したりすることができます。

•創意・工夫

つくり出したり、工夫したりすることの喜びを体験できます。

創作活動、ニュースポーツ等の様々な活動を通して、工夫することの楽しさや創造性、物を大切にしようとする心を育てることができます。

•自主性・協調性

自主性や協調性、社会性を育むことができます。

グループでの活動は、自分のことは自分です、仲間とよく相談し協力するといった態度や行動が求められ、このような活動の実践・反復を通して、青少年の自主性や協調性、社会性を育てることができます。

•リフレッシュ・体力

心身のリフレッシュと体力の増進につながります。

自然の中での生活や活動は、心身をリフレッシュさせるとともに、健康・体力の維持・増進につながります。



特に期待できる効果を★の数であらわしています。
P.10の一覧を参照してください。

プログラムを考える流れ

「何のために活動（プログラム）をするのか」

児童・生徒の実態

教師・学校の思い

保護者・地域の願い

「何のために
(プログラムを) するのか」

が最も大切なこと！

目標（ねらい）の設定

(例)

- ・仲間づくり
- ・達成感
- ・リーダーシップ
- ・コミュニケーション力

プログラム（何をするか）は、子どもたちに働きかけるための道具（手段）でしかない。

「何のために（プログラムを）するのか」というねらいを明確にして、その目的（意図）に応じて、活動を進めていくことが大切。

プログラム立案上の留意点

(ア) 子どもの興味に基づく

子どもの興味を出発点

→ **子どもの意欲と体験の質・興味の広がりや深まり**

(イ) 苦手な子・初めての子に合わせる

対人支援の基本は、一人一人が大切にされること

特に、信頼関係が未熟な段階では、できない子どもに合わせる配慮を！

(ウ) 活動を詰め込みすぎない（余裕を持つ）

させたいことがたくさんあると、ついつい活動を詰め込んでしま
う。

しかし、

○忙しい活動は大人も子どももうれしくない。

○一つ一つの活動にじっくり取り組めない。

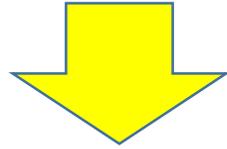
○すき間の時間も大切！

体験活動にこそ、「ゆとり」が必要！

子どもの視点で考えましょう。

(工) 安心・安全が守られる

安全に活動が行われることは、体験活動を行う上での絶対条件！



事前下見・事前準備が重要
実施場所に**危険がないか**を確認
近隣の医療機関を調べる など

心理的に「安心」できる環境であることも重要な要素
「安心」できる環境があることが、「安全」につながっていく

(オ) 目的に応じてアレンジする

同じ活動でも、「何を重視するか」によって実施の仕方は変わる

- ・ グループの分け方
- ・ どこまで教えるか
- ・ 設定するレベル
- ・ 注意するか

以上のことを踏まえて、実際にプログラムを組んでみましょう！

体験プログラム作成の実際



	活動名	活動で重視すること	活動時に望む児童生徒の姿	安全の確保 (事故防止)	安心の確保 (児童生徒への支援体制)
1					
2					
3					
4					
5					

活動プログラム名	教科等	小学校	教科等	中学校	所要時間	可能時期
		学習指導要領における内容等		学習指導要領における内容等		
登山	理科	・雨水の行方と地面の様子(4年) ・流れる水の働きと土地の変化(5年) ・土地のつくりと変化(6年)	理科	・身近な地形や地層、岩石の観察(1年) ・地層の重なりと過去の様子(1年) ・火山と地震(1年) ・自然の恵みと火山災害・地震災害(1年) ・自然の恵みと気象災害(2年) ・生物と環境(3年) ・自然環境の保全と科学技術の利用(3年)	3～7時間	通年
OL	理科	・季節と生物(4年) ・雨水の行方と地面の様子(4年) ・流れる水の働きと土地の変化(5年) ・生物と環境(5年) ・土地のつくりと変化(6年)	理科	・身近な地形や地層、岩石の観察(1年) ・地層の重なりと過去の様子(1年) ・火山と地震(1年) ・自然の恵みと火山災害・地震災害(1年) ・自然の恵みと気象災害(2年) ・生物と環境(3年) ・自然環境の保全と科学技術の利用(3年)	1.5～2.5時間	通年
水基めぐり	社会	・身近な地域や市区町村の様子(3年) ・都道府県の様子(4年) ・県内の伝統や文化、先人の働き(4年) ・県内の特色ある地域の様子(4年) ・我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり(6年)	社会	・地理的分野 A(1)②日本の地域構成 C(1)地域調査の手法 C(2)日本の地域的特色と地域区分 C(3)日本の諸地域 C(4)地域の在り方	1.5～2時間	通年
阿蘇神社・水基めぐり フィールドビンゴ	社会	・身近な地域や市区町村の様子(3年) ・都道府県の様子(4年) ・県内の伝統や文化、先人の働き(4年) ・県内の特色ある地域の様子(4年) ・我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり(6年)	社会	・地理的分野 A(1)②日本の地域構成 C(1)地域調査の手法 C(2)日本の地域的特色と地域区分 C(3)日本の諸地域 C(4)地域の在り方	1.5～2時間	通年
沢登り・沢遊び	理科	・雨水の行方と地面の様子(4年) ・流れる水の働きと土地の変化(5年) ・生物と環境	理科	・自然の恵みと気象災害(2年) ・生物と環境(3年) ・自然環境の保全と科学技術の利用(3年)	3時間	5月～9月
星座観察	理科	・月と星(4年) ・月と太陽(6年)	理科	・天体の動きと地球の自転・公転(3年) ・太陽系と恒星(3年)	1～1.5時間	通年
キャンドルの集い	学活	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現	学活	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現	2時間	通年
キャンプファイヤー	理科	・燃焼の仕組み(6年)	学活	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現	2時間	通年
	学活	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現				
野外調理	理科	・燃焼の仕組み(6年)	理科	/	4時間	4月～11月
	家庭	(1)食事の役割 (2)調理の基礎				
チャレンジゲーム	体育	A 体づくり運動 (5・6年) ア 体ほぐしの運動 イ 体の動きを高める運動	学活	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	2～3時間	通年
	学活	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全				
ジオパーク学習 プログラム	理科	・雨水の行方と地面の様子(4年) ・流れる水の働きと土地の変化(5年) ・土地のつくりと変化(6年)	理科	・身近な地形や地層、岩石の観察(1年) ・地層の重なりと過去の様子(1年) ・火山と地震(1年) ・自然の恵みと火山災害・地震災害(1年) ・自然の恵みと気象災害(2年) ・生物と環境(3年) ・自然環境の保全と科学技術の利用(3年)	3～6時間	通年
阿蘇防災学習 プログラム	道徳	・希望と勇気、努力と強い意志 ・親切、思いやり ・感謝 ・勤労、公共の精神 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 ・生命の尊さ ・自然愛護 ・よりよく生きる喜び	道徳	・希望と勇気、克己と強い意志 ・思いやり、感謝 ・社会参画、公共の精神 ・勤労 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 ・生命の尊さ ・自然愛護 ・よりよく生きる喜び		

※教科等に位置づけたり、関連付けたりすることで、より効果的な学習の展開を期待できる「体験活動プログラム」の例を提示しています。各学校の集団宿泊活動の目標及び教科等のねらいに応じて、教科等の時間として取り扱うことで、各校の先生方と交流の家職員等が連携することで、授業時数としてカウントすることも可能になると考えています。ぜひ、ご検討ください。

[例 導入(学校)-活動(交流の家)-まとめ(学校)など]

			自 感 性 体 験	達 克 成 服	工 創 夫 意	協 自 調 主 性 性	リ フ レ カ シ ユ 体 力
1	野外活動	1 登山	★★★★	★★★★			★★★★
		利インターリング	★★★★	★★		★★	★★★★
		2 館内ビンゴ		★★		★★	
		館内利インターリング		★★		★★	
		3 水基巡り	★★	★		★★	
		4 サイクリング	★	★★			★★★★
		5 ハンターゲーム		★★		★★	
		6 阿蘇検定利インターリング		★★		★★	
		7 沢登り・沢遊び	★★★★	★★			★★
8 星座観察	★★	★★					
9 ナイトハイク	★★★★	★★			★★★★		
2	交流活動	10 キャンドルの集い			★★★★	★★	
		11 キャンプファイヤー			★★★★	★★	
3	創作活動	12 プラキター			★★★★		
		13 竹とんぼ・木とんぼ・色鉛筆			★★★★		
		14 勾玉			★★★★		
		15 マイ箸づくり			★★★★		
		16 葉っぱブローチ	★		★★★★		
		17 押し花コースター	★★★★		★★★★		
4	野外調理	18 野外調理	★★★★	★★★★	★★★★	★★★★	★★★★
5	ニュースポーツ	19 ASOびんピック		★★★★			★★
		20 ディスクゴルフ	★	★			★★★★
		21 ハタク			★		★★★★
		22 キンボール			★★	★★★★	★★
		23 各種スポーツ					★★★★
6	チャレンジゲーム	24 各種チャレンジゲーム	★	★★★★	★★★★	★★★★	★★
7	自然体験	25 カメラゲーム	★★★★	★			
		26 目かくし列車ゲーム	★★	★★		★★	
		27 草原のストラップゲーム	★★	★	★★	★	
		28 目かくしトレイルゲーム	★★	★		★	
		29 マーキングゲーム	★★★★	★			
8	ジオパーク学習	30 ジオパーク学習プログラム	★★★★	★★			★
9	阿蘇防災学習	31 阿蘇防災学習プログラム	★★★★	★★			★
		32 火を使う防災食プログラム	★★★★	★★★★	★★★★	★★★★	★★★★
		32 火を使わない防災食プログラム	★★★★	★★★★	★★★★	★★★★	★★★★
10	幼児の運動	33 大玉相撲		★			★★★★

持続可能な社会（ESD）づくりの構成概念

I 多様性【いろいろある】

自然・社会・文化・経済は、期限・性質・状態などが異なる多種多様な事物（ものごと）から成り立ち、それらの中では多種多様な現象（出来事）が起きていること。

II 相互性【関わりあっている】

自然・社会・文化・経済は、互いに働き掛け合い、それらの中では物質やエネルギーが移動・循環したり、情報が伝達・流通したりしていること。

III 有限性【限りがある】

自然・社会・文化・経済は、有限の環境要因や資源（物質やエネルギー）に支えられながら、不可逆的に変化していること。

IV 公平性【一人一人大切に】

持続可能な社会は、基本的な権利の保障や自然等からの恩恵の享受などが地域や世代を渡って公平・公正・平等であることを基盤にしていること。

V 連携性【力を合わせて】

持続可能な社会は、多様な主体が状況や相互関係などに応じて順応・調和し、互いに連携・協力することにより構築されること。

VI 責任制【責任をもって】

持続可能な社会は、多様な主体が将来像に対する責任あるビジョンをもち、それに向かって変容・変革することにより構築される。

持続可能な社会（ESD）で重視する能力・態度

① 批判的に考える力

合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力

② 未来を予測して計画を立てる力

過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力

③ 多面的、総合的に考える力

人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的・総合的に考える力

④ コミュニケーションを行う力

自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力

⑤ 他者と協力する態度

他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・共同してものごとを進めようとする態度

⑥ つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度

⑦ 進んで参加する態度

集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごと主体的に参加しようとする態度



阿蘇青少年交流の家の活動プログラムでは、

① 持続可能な社会（ESD）づくりの構成概念

② 持続可能な社会（ESD）で重視する能力・態度

を大切にして職員は指導に当たります！

活動プログラムにおける

ESDづくりの構成概念とESDで重視する能力・態度との関連

活動名（ESDづくりの構成概念 ESDで重視する能力・態度）

1 野外活動

- (1)登山 (I ③)
- (2)OL(オリエンテーリング) (V ⑤)
 - 雨天時①：室内ビンゴ (V ④)
 - 雨天時②：館内OL (V ④)
- (3)水基巡り・フィールドビンゴ (II ⑥)
- (4)サイクリング (V ④)
- (5)ハンターゲーム (IV ④)
- (6)阿蘇検定オリエンテーリング (V ④)
- (7)沢登り・沢遊び (IV ⑥)
- (8)星座観察 (I ⑥)
- (9)ナイトハイク (V ⑤)

2 交流活動

- (10)キャンドルのつどい (IV ⑦)
- (11)キャンプファイヤー (IV ⑦)

3 創作活動

- (12)プラホビー (I ②)
- (13)竹とんぼ・木とんぼ・色鉛筆 (I ②)
- (14)勾玉 (I ②)
- (15)マイ箸づくり (I ②)
- (16)葉っぱのブローチ (III ⑦)
- (17)押し花コースター (III ⑦)

4 野外調理

- (18)野外調理の手引き (VI ③)
 - ・焼きそば 調理の手引き
 - ・カレーライス (ハヤシライス)
 - ・阿蘇たかなめし・だご汁
 - ・豚汁
 - ・バーベキュー
 - ・石釜ピザ・パン
 - 阿蘇キャベツのまるごとスープ
(一部コンロ使用)
 - ・石釜クッキー

5 ニュースポーツ等

- (19)ASOびんピック (IV ⑤)
- (20)ディスクゴルフ (V ⑦)
- (21)ペタンク (V ①)
- (22)キンボール (V ④)
- (23)各種スポーツ
 - グラウンドゴルフ
 - フロアホッケー

6 チャレンジゲーム

- (24)チャレンジゲーム (V ②)
 - ・根子岳縦走
 - ・高岳ジャンプ
 - ・あか牛の横ばい
 - ・わたしの一本橋
 - ・猿の大脱走
 - ・長ゲタトレッキング
 - ・中岳くぐり
 - ・天狗の舞台

7 自然体験活動ゲーム

- (25)カムフラージュゲーム (II ③)
- (26)目かくし列車ゲーム (II ③)
- (27)草原のレストランゲーム (II ③)
- (28)目かくしトレイルゲーム (II ③)
- (29)マーキングゲーム (II ③)

8 ジオパーク学習プログラム

- (30)ジオパーク学習プログラム (II ②)

9 阿蘇防災学習

- (31)阿蘇防災学習プログラム (VI ①)
- (32)防災食プログラム (VI ①)

10 幼児の運動プログラム

- (33)大玉相撲 (IV ⑥)